○第233号（昭59．12．1）

都道府県間人口移動表—昭和29～58年—……内野　澄子技官／三田　房美技官

「実地調査報告資料」

○昭和58年度　結婚に関する人口学的調査（昭59．10．1）……阿藤　誠技官／今泉　洋子技官／金子　隆一技官

第57回日本社会学会大会

日本社会学会（会長：青井和夫津田塾大学教授）の第57回大会は，昭和59年10月13日（土）と14日（日）の両日にわたって京都市の龍谷大学で開催された．初日から2日目の午前にかけて66の部会で200に近い一般研究報告が行われ，2日目午後には「社会計画と社会指標」，「戦後改革と戦後社会意識」，「差別の現象学」，「現代社会と宗教」の四つのテーマ部会が開かれた．

14日午前の人口部会では，本研究所の阿藤誠人口資質部長司会のもとに以下の3報告がなされた．

中国計画生育政策の転換期……日本大学　黒田俊夫

人口政策と家族政策の関係について……厚生省人口問題研究所　小島　宏

1975年配偶関係別生命表……中村学園大学　山本文夫

各報告終了後，専門家による活発な議論が行われた．

また，大会に引き続いて10月15～17日に神戸市の舞子ビラで日本社会学会主催の第4回アジア社会学会議が開かれた．これは「東アジアにおける家族と地域社会の変動」と題されたシンポジウムで，初日午前のセッション1「人口」では，黒田俊夫教授の司会の下に阿藤誠部長が“Fertility Transition in Asia”という題目で報告を行った．なお，討論者は嵯峨座晴夫教授（早稲田大学）が務めた．（小島　宏記）

日本老年社会科学会第26回大会

日本老年社会科学会（会長：那須宗一中央大学名誉教授）の第26回大会は，昭和59年10月4日（木）および5日（金）の両日にわたり，お茶の水女子大学（東京都文京区）において開催された．

第1日目の午後は，「老年期をどう生きるか—心の健康」と題する映画が上映され，ひき続き湯沢雍彦（お茶の水女子大学教授）大会会長の講演「老人問題における相続問題」が行なわれた．この会長講演は，今後，「人口高齢化」に伴って生ずるであろう相続をめぐる紛争に関して様々な問題を提起したものであり，興味深い内容がもりこまれていた．

第2日目の午後は，シンポジウム「高齢化社会の住宅問題—老人にとって望ましい住居と住環境はどのようなものか—」（司会：木下茂徳，報告者：荒木兵一郎，加藤泰純，二瓶万代子，林　玉子，金子勇次郎）が行なわれた．「高齢化社会」における諸問題解決には，学際科学的アプローチが必要であるが，本年は，建築学の立場からの発言を中心にした企画であった．ここ何年間かのシンポジウムを顧みると，民話・昔話（民俗学），医学，福祉学等々からのアプローチとなっていたが，今年は，建築学ということで，新しい学問分野からの接近が試みられた．

なお，本研究所からも多数の会員が大会に参加したが，中野英子技官は，「労働力人口の中高年化　いつ誰が　誰を扶養するか」と題する研究発表を行なった．このほかにも，人口，家族に関するいくつかの研究発表が行なわれ，活発な質疑討論が行なわれたことをつけ加えておきたい．（清水浩昭記）